



# 議会たより

松崎

No.124  
令和元年7月11日

「那賀バイパス沿いのあじさい」

## 《主な内容》

### 第2回定例会（6月5日～6月6日）

令和元年度一般会計補正予算	2
平成30年度企業会計決算	3
議員会視察	4
町政を問う 一般質問に6議員	6



the most beautiful  
villages  
in japan

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

# 令和元年6月定例会

令和元年第2回定例会が、6月5日から6日までの2日間で開催されました。

本定例会では、令和元年度補正予算案など11議案について審議を行い、原案どおり可決・認定しました。

## 一般会計補正予算

補正予算(第1号)は、歳入歳出にそれぞれ8135万7千円を増額し、補正後の額を37億635万7千円とするもので、道の駅整備計画を見直すためのワーキンググループ設置費用や、消費税増税対策としてのプレミアム付商品券事業費などが新たに計上された。

**問** 道の駅整備運営ワーキンググループは、どんなスケジュールで動いていくのか。また、最初の会議はいつ頃を予定しているのか。  
**答** 企画観光課長 ワーキンググループのメン

バーへの謝礼として52万8000円、15名以内で8回分の予算を計上した。6月末にはワーキンググループを立ち上げ、毎月1回のペースで開催し、十分な議論を尽くしたうえで、来年度予算にどう反映していくか検討していきたい。

**問** 企画費のまちづくりアドバイザーは、具体的にどんなときに、どのようなアドバイスを受けるのか。  
**答** 企画観光課長 まちづくりアドバイザー設置

要綱に基づき、道の駅整備運営にあたり指導助言を仰ぐ目的で予算計上したものの、具体的にはワーキング

グループを進めていく中で、道の駅全体の整備に関するることとか、個別の部分に対する指導を仰ぎたいと考えている。

**問** アドバイザーは、1回あたり3万円で5回分の説明である。  
**答** 要綱では、まちづくり

に専門的知識を有する者の中から町長が委嘱するとあり、内容が人事案件と同じである。どなたに依頼するのか、はっきり説明すべきではないか。  
**答** 企画観光課長 ワーキンググループを進めるなかで、色々な意見や提案があるので、それらを検討していくうえで一緒に進めていける人をグループで相談したい。

現在においては、具体的な人選はしていない。  
**問** 予算だけは計上して人選は町長があとで決める。これでは資格の無い人を委嘱しても、議会は何も言えない。そういう

ことでいいのか。  
**答** 町長 せめて町長にそのくらい、人を見る目を任せてもらえないか。私は人を見る目はしっかりと持っている。

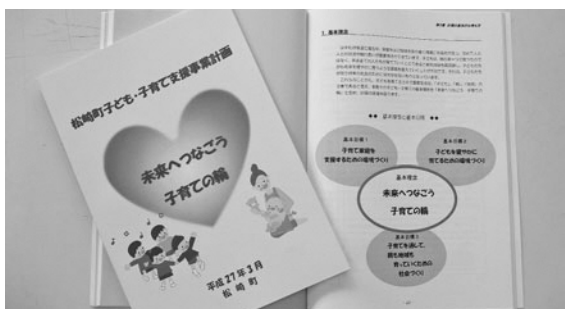
**問** 予防費の委託料に、風しん抗体検査委託186万円がある。  
**答** 説明では過去に風しん

予防接種がされなかった年代の男性が対象のことであったが、個人負担はどれくらいかかるのか。  
**答** 健康福祉課長 国の補助などもあり、基本的には個人負担はない。

**問** 妊婦が風しんに感染すると、子どもの死亡リスクが高まる。個人負担ゼロなら、その旨をしっかりと告知した方がいい。  
**答** 健康福祉課長 対象者は600人余りを見込んでいます。3年に分けて抗体検査を行う予定であるが、その辺の周知は抜かりなくやっていきたい。

**問** 児童福祉費の委託料に、子ども子育て支援事業計画策定費用として325万円計上されている。業者に委託するとの説明だが、町の要望は取り入れられるのか。  
**答** 健康福祉課長 子ども子育て支援法に基づき、向こう5年間の計画を策定するもので、全て業者に丸投げをするわけではない。

当然、少子化対策に関する町の意向もあるので、基本となる部分は町で考え、計画に反映させていきたい。



現在の子ども子育て支援計画

## 平成30年度 企業会計決算

決算の概要は、広報  
まつぎ7月号をこ  
覧ください。

### 水道事業

総収益は、節水意識の  
向上や給水人口減少の影  
響による使用水量の減少  
などから、前年度比45  
5万1千円減の1億40  
65万円となった。

一方、総費用において  
は、水質検査委託料や動  
力費の増加により596  
万4千円増の1億375  
5万4千円となり、差し  
引き純利益は309万6  
千円を計上した。

**問** 使用水量が大きく減  
少しているが、何か特別  
な原因があったのか。

**答** また、令和元年度の収  
支見込みはどれくらいか。  
生活環境課長 使用  
水量は、前年比3万26

70㎡減っている。人口  
減少や核家族化などが主  
な原因と考えている。

なお、今年度の収支は、  
約152万円の利益を見  
込んでいる。

**問** 高齢化と人口減少が  
どんどん加速化している  
が、このまま行っても黒  
字を維持できるか。

**答** 生活環境課長 10月  
使用料より消費税分2%  
の料金改定を考えている。  
これによる収入増を勘案  
すると、30年度決算と同  
程度の利益を見込むこと  
ができる。

**問** 過年度未収金935  
万円の内容は。

**答** 生活環境課長 滞納  
者55名分の未収金となっ  
ている。高額滞納者が3  
名おり、未収金の大部分  
を占めている。  
対策としては、督促、  
催告、給水停止の対応を  
取っているが、訪問徴収  
等も行い、未収金回収に  
取り組んでいる。

### 温泉事業



安全な水を供給（水質検査）

総収益は6059万1  
千円で、権利放棄や休止  
件数の増加、使用湯量の  
減少などにより、前年度  
比169万5千円の減と  
なった。

一方、総費用において  
は財務会計システム導入  
による委託料や動力費の  
増加などから129万1  
千円増の5300万7千  
円となり、差し引き純利  
益は758万4千円を計  
上した。

### まつぎ荘事業

今年度の宿泊客数は2  
万358人で、前年度比  
2393人の大幅減となっ  
たほか、忘新年会や法事  
などの会食利用者も大き  
く減少し、大変厳しい結  
果となった。

7月からは宿泊料金を  
引き上げ、食事の改善な  
どに努めたものの、事業  
収益では1131万円の  
減収となり、405万7  
千円の赤字決算となった。  
平成28年度、29年度と  
黒字であったものが3年  
ぶりに赤字に転落してし  
まい、累積欠損金は1億  
9810万1千円に膨ら  
んだ。

**問** 宿泊客の減少は、猛  
暑とか台風の影響などと  
の説明だが、予約ルート  
ごとの分析はどうか。

**答** 企画観光課長 予約  
実態に基づいたデータ分  
析は行っている。一番減  
少したのが、まつぎ荘

のホームページからの予  
約でもあったため、今年  
度はホームページの改良  
も行った。あと「じゃら  
ん」からの申込みも大き  
く減ったので、旅行者  
への魅力あるプランの提  
供も考えて行きたい。

**問** 7月から1000円  
値上げしても、増収には  
つながらなかった。台風  
などの影響ではなく、明  
らかに経営の失敗である  
ことを認め、そこから原  
因を追究した方が再生の  
早道ではないか。

**答** 企画観光課長 我々  
はお客さんを伸ばすため  
に一生懸命努力している。  
そういった中で、こうい  
う結果になったことは受  
け止めたいが、決して経  
営をないがしろにしてき  
たわけではない。

なお、7月の料金改定  
が集客に全く影響がなかつ  
たとは思ってはいないが、  
料金改定により約100  
0万円の収入効果があつ  
たことも事実である。

条例・人事

今定例会では、予算決算のほか次の条例・人事案件も提出され、いずれも原案のとおり可決・同意した。

第3回臨時会

豆まつぎ荘の利用料金を引上げ・10月1日から適用)

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

山本 進氏(伏倉)を再任

◎松崎町森林環境譲与税基金条例(森林整備等に充てるための基金を創設・交付の日から施行)

◎松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例(医療給付分に係る課税限度額を3万円引上げ・令和元年度分の保険料から適用)

◎松崎町介護保険条例の一部を改正する条例(低所得者の保険料軽減を強化・令和元年度分の保険料から適用)

◎松崎町営宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例(消費税改正に合わせ、伊

4月26日に開催された第3回臨時会では、法律等の施行により関係する町条例に改正の必要が生じたことから、3月29日に専決処分した2件の条例改正について承認を求められ、いずれも原案のとおり承認した。

◎専決処分の承認(松崎町税条例の一部を改正する条例)(個人住民税に係る住宅ローン控除の期間延長など)

◎専決処分の承認(松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)(低所得者に対する軽減判定所得基準額の見直しなど)

第3回臨時会・第2回定例会の賛否状況一覧

議会名	議案番号	議 員 件 名	議 員							議決状況
			田中道源	鈴木茂孝	小林克己	深澤守	渡辺文彦	高柳孝博	土屋清武	
第3回臨時会	議案第37号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第38号	専決処分の承認を求めることについて(松崎町条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第39号	専決処分の承認を求めることについて(松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	承認
第2回定例会	議案第40号	松崎町森林環境譲与税基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第41号	松崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第42号	松崎町介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第43号	松崎町営宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第44号	令和元年度松崎町一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第45号	平成30年度松崎町水道事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第46号	平成30年度松崎町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第47号	平成30年度松崎町温泉事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第48号	平成30年度松崎町温泉事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第49号	平成30年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつぎ荘」事業会計収入支出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第50号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	同意	

※議案37号は、土屋議員は当事者のため退席(賛成:○ 反対:×)

## 工事の効果などをチェック 議員会町内視察

5月27日、議員会は、平成30年度に施工された工事箇所の中から10カ所を選定し、現場視察を実施した。また、30年度に発注し繰越事業となっている小中学校へのエアコン整備状況についても現地確認を行った。

主なものは次のとおり。

### ◎長八美術館空調設備改修工事（南区）

（工事費 218.9万円）

漆喰鍍絵などの美術品を展示保管するには、館内の温度、湿度を一定に保つ必要があるが、近年、空調設備の調子が悪く、修繕では対処しきれないことから、設備全体を改修したものの。

収蔵庫では展示されていない作品を保管しているが、貴重な作品なので破損することのないよう

作品の保管方法にも十分留意されたい。



空調を改修した収蔵庫（長八美術館）

### ◎旧依田邸駐車場整備工事（大沢）

（工事費 242.8万円）

旧依田邸の今後の利活用のため、既存の建物6棟を解体し、駐車場1150㎡を整備したものの。

今後の温泉配管等の工事を考慮し、アスファルトではなく砕石舗装としたが、強風時には砂ぼこ

り対策が必要ではないか。また、近隣から目隠しの要望があり、樹木を植栽するようであるが、目隠しになるまでに成長するには相当の年数を要すると思われるので、既製品の工作物で早期に対応してはどうか。



整備された駐車場（旧依田邸）

### ◎町道石部線舗装補修工事（石部）

（工事費 93.1万円）

現状がコンクリートで、路面の状態が悪くなっている町道石部線の舗装補修を行ったもの。

国の交付金を活用し、

平成28年度から継続事業として実施しているもので、今回は17.5mを施工した。残り600mを2年間で予定しているが、早期完了に向け努力されたい。

### ◎石部地区送配水管改良工事

（工事費 63.5万円）

舗装工事に合わせ、老朽化した水道本管の布設替えを行ったもの。単独で行うより舗装復旧費が削減でき、工事費の節減が図られている。



舗装補修と水道本管改良（町道石部線）

### ◎町道石部線転落防止柵設置工事（石部）

（工事費 33.2万円）

山道川下流部沿いのガードパイプについて、一部破損し危険であったことから、地区の要望等に基づき延長150mを改修したもの。既存パイプはサビも目立っていたが、今回の改修で景観がたいへん良くなった。

民宿もあり、観光客が訪れる地域でもあるので、対岸の白い防護柵も同じく改修してはどうか。構造上問題なければ、ブルーに塗装するだけでも景観が良くなると思うので、今後検討されたい。



町道石部線転落防止柵設置

# 町政を問う

**問** 今後の展望について

**答** 慎重に町政を運営する



田中道源 議員

**問** 不信任案提出の理由

の中に、公約達成を優先し住民や議会の意見を聞かず独断的に押し進めてきたとあった。姿勢を変えていくと答えているが、今後の町政運営を議会や住民の言葉を聞き進めていくことで間違いないか。

**答** (町長)

全くその通りである。

**問** 必ずしも公約を期間

内に果たすことにこだわらない解釈で良いか。

**答** (町長)

無理なことを行うつもりはない。引くときは引き、方向転換するときはして柔軟に進めていく。

**問** 政策を進めるうえで、

職員の働きやすい環境が必要であるが、役場内にハラスメント防止規定はあるのか。

**答** (統括課長)

ハラスメントは県に苦情を訴える窓口があるが、総務課でも受け付ける。

**答** (町長)

ハラスメントは受け取り方によって難しい。今後、研究していきたい。

**問** 花畑をどう考える

**答** 官民一体で協力

**問** 花畑は町外の方に訪

れていたため大切な資源であり交流事業でもあると考えるが、町長も同じ認識で良いか。

**答** (町長)

全くその通りである。

**問** 今年度、花畑事業に

予算がついているが、どのように使うのか。

**答** (企画観光課長)

来春の花畑に280万円の前算を計上している。内容について実行委員会と町、別々にするのではなく皆さんと話し合っ

**問** 町の花畑事業に対し

ではお客様は不安であり

事業自体がマイナスイメージになる可能性がある。

改めて町が花畑にどう関わっていくか聞きたい。

**答** (町長)

内容については話し合い、進めるつもりである。若い人達が率先して自発的に動いたことは松崎の自慢であり、それに町は応えていきたい。

**問** 子育て世代の支援は

**答** 不安軽減に貢献

**問** 少子化の要因の一つ

として収入の問題があり、

就業環境に合わせて子供を預かってもらうことが必要である。今年度、

1・2歳児の中に待機児童があったと聞いているが、待機児童の受け入れ、もしくは支援を考えているか。

**答** (健康福祉課長)

昨年から待機児童が生じている。今後、園と協力連携しながら対応する。



令和2年度の花畑の行方は



ドローンによる農薬散布



高柳 孝博 議員

問 人口減少対策は

答 真の子育て支援を

**問** 子育て世代への支援策の成果と、更なる向上策をどう考えるか。

**答** (町長)

子育て家庭の抱える不安や経済的負担の軽減に役立っていると考えます。

10月からの幼児教育・保育の無償化などを見ながら、真に必要な支援策を検討していく。

**問** 定住化支援策の成果と今後の対策は。

**答** (町長)

平成30年度移住定住促進事業の実績は、相談件数103件、体験ツアー参加者33名などで、移住者の実績は6名である。今後も民間団体など一層の連携を深め、移住定住に向け取り組んでいく。

問 仕事創生は

答 後継者・生産量増を

**問** 農林水産観光業の一体推進による経済の活

性は、どう拡充するか。桜葉産業と観光との一体化をどう考えるか。

**答** (町長)

桜葉は菓子などの原材料であり、観光との一体化は簡単ではなく、現在は後継者及び生産量を増やすべく調整中である。

**問** 産官学の取り組みやAI・ICT・ドローンなどの導入についてどう考えるか。プロジェクトを作って検討の計画はあるか。

**答** (町長)

先端技術を使ったスマート農業は小規模な圃場や中山間地域ではコストが高く導入が難しいが、農業者や県、農協とも相談していく。

問 後継者育成について

答 関係者と広域連携

**問** 「賀茂地域教育方針の目標達成に向けての工程」の進捗と計画は。

**答** (町長) 賀茂1市5町と地域が一体となった施策が推進されている。

賀茂地域教育振興センターの開所により、教職員の質の向上が図られ、大学との連携により地域課題の解決が期待できる。幼児教育アドバイザーの設置により、園と小学校の交流が進んでいる。

高等学校の魅力化は全体としての協議は進んでいない。今後は県の支援をいただきながら、連携による対応が望ましいものは広域で展開していく。

**問** グローカル人材の育成による産業創出・地域の魅力化・持続可能化をどう考えるか

**答** (町長)

グローバル人材の育成には相応の育成環境づくりが必要であり、持続可能な開発目標を関係各部署及び大学や企業等と連携して推進していく。

**問** 災害に強い町づくりは

**答** あらゆる事態を想定



小林 克己 議員

**問** 伏倉の第2避難所に土砂を仮置きされると、避難所として機能しないと思うが、どのように考えているのか。

**答** (町長) 土砂の仮置きができないと事業の進捗に影響があるので、ご理解をお願いしたい。

**問** 水門や防潮堤を必要に感じている町民がいる。これに対し、町はどのような考えなのか。

**答** (町長)

協議されてから久しい水門や防潮堤については、本年中に整備に関する計画が策定される見込みで一日も早く実現できるように国・県にお願いをしている。

**問** B & G プールは

**答** 健康増進に必要な

**問** ウォーターステップの必要性を感じるが、ど

のような考えなのか。

**答** (町長)

必要性を感じていたため、6月の補正予算に計上し、購入する準備を進めている。

**問** 入口をスロープに、

トイレを和式から洋式にした方が良いと思うが、どのように考えているか。

**答** (町長)

ハード整備には相応の予算が必要となるが、健康増進のために必要な施設なので、できる箇所から改修していきたい。

**問** 利用活用促進をどのように考えているか。

**答** (町長)

プールの活用については、今までどおり小学生の水泳教室やB & G水泳大会の他に、リハビリや健康増進に活用してもらうよう健康福祉課に働きかけ、高齢者や障がい者の利用に協力してもらおう。また、伊豆の温泉を活用したプールであること

を観光関係者にもっとアピールしてもらうことにより、町外からの利用者の増加を図りたいと考えている。

**問** 部活動支援の増額は

**答** 現状維持で

**問** 中学校の部活の練習試合に、遠征費の補助を出してもらえないか。

**答** (町長)

練習試合まで含めると、多くの予算が必要となる。また、部活動の種目間や練習試合数による格差があるので防ぐため、原則として正規な大会への補助のみと決めている。補助額は、近隣の中学校とも比べても決して少なくないので、現状維持でご理解をお願いしたい。



プールの積極的な活用を (水泳大会の様子)





桜葉の圃場整備を行う生徒たち

問

高校生通学補助創設は

答

松崎型の制度を検討



鈴木 茂孝 議員

**問** 松崎の子供たちがより豊かに育つ環境をつくるため、保護者の経済的負担の軽減を目的とする高校生への通学費補助制度創設の考えは。

**答** (町長)

当町は、近隣の町のようにほとんどがバス通学のようなケースと異なり補助の対象が限られてしまふ。松崎高校へ出来るだけ多くの生徒に通って頂きたいこともあり、今のところ考えていない。

**問** 高校生は児童手当も終了し、部活動の遠征費など多くの費用がかかり、保護者の経済的負担は大きい。

近隣の町では通学補助は昨年より実施されており、西伊豆町は拡充する方向である。より充実した子育て支援のためぜひ検討をお願いしたい。

**答** (教育長)

当町では通学に徒歩、自転車、バス、送迎の4つのパターンが考えられ

る。中高一貫教育のソフト面の整備からも、それぞれのケースに対応した松崎型の制度を検討していきたい。

**問** 桜葉産業の振興

**答** 継続して取り組む

**問** 町では平成30年に桜葉振興室を設置して支援してきたが、これまでの支援と今後の長期的方針、今年の実施的な施策は。

**答** (町長)

ひとつひとつ課題解決に向かって取り組んでいる。将来の後継者不足を解消するため東部支援学校の生徒達に桜葉栽培を体験してもらっている。長期的な方針を立てることは理想であるがなかなか難しい。

**問** 桜葉産地を続けていくには組織が必要であり、

まずは桜葉振興室をその中心として進めていくべきではないか。

**答** (町長)

組織化は必要と考えているが、どのような体制にするか難しいところである。桜葉産業は町にとって重要な産業であり、関係者と相談しながらチャレンジしていく。

**問** 移住・定住の促進

**答** オール松崎で進める

**問** より多くの方が関わりを持てるように、松崎移住促進協議会のような組織を作ってはどうか。

**答** (町長)

町の委託機関と商工会、観光協会、不動産業者、企画観光課などを組織化して情報を多岐にわたって収集していくべきである。出来るだけ早く組織化を進めていきたい。

**答** (企画観光課長)

空き家バンクへの登録が増えるよう、特典などのソフト面の整備を検討したい。

問 不信任案が出た原因は

答 謙虚さに欠けていた



渡辺 文彦 議員

問 町長不信任案が提出された原因はどこにあると思うか。

答 (町長)

- ① 気負いがあり謙虚さに欠けていた。
  - ② 町にとって正しいと思える施策を行えば、議会も理解すると思っていた。
  - ③ 性分として高圧的な人には抗う性格であった。
  - ④ 前議員にまったく聞く耳を持たない人がいた。
- 等の理由から対立が生じたと考える。

問 今回の不信任案をどのように受け止めたか。

また、議員も町民の代表として発言しているが今後、意見の対立にどのように対処されるつもりか。

答 (町長)

今回のことで、議会と意思疎通が不十分な場合、結果として町民に不安を与えることを痛感した。今後は、お互いに同じ目的を持って行動している点では一致しているの

で、納得いくまで対話する

るとともに、柔軟な対応をもって臨みたい。

問 ストーリー性のある構想か

答 明治 現在、未来を融合

問 道の駅パーク構想は、松崎の未来に向けてのメッセージを発信できるストーリー性が必要と考えるが、それはどの様に反映されているか。

答 (町長)

道の駅パーク構想は、交流人口の拡大、地場産業の振興、住民所得の増加及び松崎町の歴史文化を発信する目的で検討してきた。町としては、明治から現在、未来を融合した空間として活用を考えている。

問 パーク構想基本計画に、旧依田邸の施設の利

用性を高めるとあるがどういうことか。また、それに関わる指定管理者は誰がふさわしいと考えるか。

答 (企画観光課長)

旧依田邸を体験の場として活用するということである。今後、管理・運営については包括指定管理者をもって温泉施設、文化施設の委託を具体的に検討していきたい。

問 直売所設置方針は

答 農業者に収入を

問 直売所設置方針は、

今後の松崎の農業のあり方を展望するものであるべきと思うが、いかがなものか。

答 (企画観光課長)

新規就農の若い方の営農は難しい。退職された方などが農業に携わって直売所を利用し、収入を得られれば良い。そのような方向で支援できればと考える。



パーク構想にはストーリー性を

## 問 岩科選定の理由は

## 答 私の選挙公約である



深澤 守議員



岩科に診療所を開設する意義は（旧岩科幼稚園）

**問** 岩科に診療所を開設する意義と、場所選定のプロセスは。

**答**（町長）

将来、懸念される医師不足の不安を解消するため、私の選挙公約として岩科地区へ誘致したい考えがある。

当該地域が津波浸水区域外であることや、大災害時には地区内の復旧対応に貢献することも可能であり、現在進めている山口雲見線の整備が完了すれば三浦地区の救護体制も確保できる。

**問** 選挙公約では、診療所を岩科小学校跡としていたが、旧岩科幼稚園に変更した理由は。

**答**（町長）

そんなに問題があるのか。岩科小学校と幼稚園の若干のずれはあるが、その辺は了解していただけるものと思う。

**問** 山口雲見線はいつ全線開通するのか。

**答**（産業建設課長）

山口雲見線は、現在、下田土木事務所が過疎代行事業として進めている。

第一工区として田代峠まで2.2kmあるが、埋蔵文化財の調査が必要なことから、それが終わってから工事着手となる。

なお、田代峠から国道136号に抜ける町道貫七線についても県営事業として賀茂農林事務所が実施するが、いずれも県の予算確保の状況によるので、いつまでかかるかは分からない。

**問** 診療所の指定管理者の選定方法は。

**答**（統括課長）

公募を考えているが、最終的には行政調査委員会に公募か非公募かを諮って決定する。

**問** 診療所の運営で赤字が出た場合、指定管理者に負担していただくのか。

**答**（統括課長）

現時点で赤字、黒字は

確定していない。公募して手を挙げてきた団体から出てきた事業計画で判断する。

赤字の規模によっては診療所はできないケースも出てくると思うが、これは、これから決める内容なのでご理解いただきたい。

## 問 公務中の選挙運動

## 答 問題ない

**問** 今回の町議選では、公務中にも関わらず選挙運動に奔走し、町長が支援する候補者の応援演説では議会の浄化を訴えた。倫理に反する行動ではないか。

**答**（町長）

全く倫理に反することはない。特別職である町長は、法律で選挙運動を禁止されておらず、町長の勤務時間、休日等についても特に定めはないので、問題ある行動ではない。

次の定例会は、9月4日(水)からの予定です。

## 議会のうごき

### 4月

26日 第3回臨時会  
広報編集委員会

### 5月

20～21日 新議員研修  
21日 議会全員協議会  
24日 広報編集委員会  
賀茂郡町議会議長会（河津町）  
27日 議員会町内視察  
28日 全国町村議会正副議長研修会（東京都）  
29日 議会運営委員会・広報編集委員会  
31日 静岡県地方議会連絡協議会総会及び研修会（静岡市）

### 6月

5～6日 第2回定例会  
7日 静岡県町村議会議長会総会（静岡市）  
13日 伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会要望活動（東京都）

表紙の写真「那賀バイパス沿いのあじさい」は文化協会写真部より提供。

#### 発行責任者

議長 藤井 要

#### 編集委員長

渡辺文彦

#### 編集委員

田中道源  
鈴木茂孝  
小林克己  
深澤守  
高柳孝博  
土屋清武

## 海鳴り

今議会は新議員3人にとつては初の定例会であり、支援者の方々は応援した議員がどのような発言をするのかと議場に訪れたのだと思いますが、2日間の会期中に60名以上の方が傍聴されたことは、私の議員生活8年の中ではありませんでした。傍聴席に座りきれない人の多さを見てすごいと思わず感動してしまいました。

議員にとつて、議場は行政に意見を述べる場所であるとともに、自らの思想を町民に伝え、自分を磨いていく場所だと思っています。

新議員の方々の質問はこれまでの経験を生かして、町政の今後の取り組みを鋭く質問していたので、町民の負託にこたえ活動、議会運営が一体となつてできると感じました。

（議長）



この人に  
聞きました②①  
松崎小学校校長  
鈴木徹弥さん

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、松崎小学校の校長先生に子どもたちの安全についてお話を伺いました。

学校では子どもたちの安全についてどのような対応をしていますか？

学校では、災害から事件・事故まで、いろいろな場合を想定したマニュアルを作成しており、定期的に打合せ・訓練を実施

し、先生方や子どもたちに徹底している。

また、他市町や警察とも連携し、近隣での不審者等の情報を迅速に得られるようにしている。

子どもの安全を守るため協力できることはありますか？

松崎小学校は学区が広く通学方法も多様なため、先生方だけではカバーしきれない部分がある。しかし、松崎町の場合、町

が委託している支援員さんや地域の方々が、引率や声かけ、交通指導をやってくださっている。おかげで子どもたちも安心して通学できる。また、何かあった際には、すぐに学校に連絡をくださるので情報共有も円滑。危険な箇所については行政が素早く対応してくれていてありがたい。

今後も、御協力お願いします。  
（聞き手 編集委員長）